



# よつば便り

平成 25 年 1 月  
よつばの会発行  
NO. 13

## 「会長の新年のご挨拶」

明けましておめでとうございます。  
発達障がいの子どもの仕事体験活動を始めて四年目を迎える事が出来ました。助けて下さる沢山の方の御蔭と感謝しています。

草の根的な広がりをしていいる中、活動の良さや子どもたちの成長をゆつくり確実に感じています。

社会では「働ける人に」「生きる力を育てる」など、子どもたちへの期待は大きく、教育機関でもキャリア教育が早くから必要と考え始められています。支援の必要な子どもたちにどういう形で「働く」「生きる力」を伝えたら良いでしょう。

基本的な生活習慣やルールを守るなど家庭で育てる事、社会の力を借りて育ててもらう、専門機関に委ねるべき事、分けて考えてみたとき、よつばの会の役割は、一番小さな家庭から少し枠を広げて、地域のおじちゃん、おばちゃんや学校、公民館、地域の会社の大人の人と関わり、人慣れ、場所慣れ、新しい事慣れ、することだと思えます。会を通じて初対面の人とも知り合いになります。子どもが中心となっているいろいろな人をつないでくれます。

受け入れ先で毎週同じ作業を、一時

間／半年行う間に、根気や忍耐力が育ちます。「ありがたい」「助かったよ」と、言われることで、やりがいや自分を肯定する気持ちが芽生えます。

時には苦手な事にも取り組み、自分の得手不得手、将来の就労選択も意識するようになります。

親の思い通りにはいかず、一足飛びで育つ部分ではないからこそ、十年かけて育てたいのです。

遠回りに見えても、活動が続けていれば、振り返った時に成長している我が子に会える、素敵な活動です。子どもたちの小さな成長は皆にとっても嬉しく、幸せな気持ちにしてくれます。

我が子の為、地域の子どものための、少しずつ力を出し合って、みんなで「地域の宝」である子どもたちを、見守り育てて行きませんか？どうぞ仲間になつて下さい。よろしくお願いいたします。

## 「こども祭り」 昨年十

一月四日、岡山ドームに於いて「わくわく子どもまつり」が開催されました。大勢の親子連れで賑わっていました。「よつばの会」でも、パネルの展示や宣伝用の冊子を配りました。



## 「定例会」 十一月の定例会

は京山公民館で開かれました。見学の方も数名いらつしやって二十名の参加でした。MさんとAさんのお誕生日の月でしたから、花束のプレゼントがありました。



## 「仕事体験」

Aさんは中央図書館へ行っています。

Mくんは岡輝公民館へ行っています。

Yくんはシティーミュージアムへ行く予定になっています。

Aさんは成人式を迎えました。

おめでとうございます！